

楽しい名月一間飛び

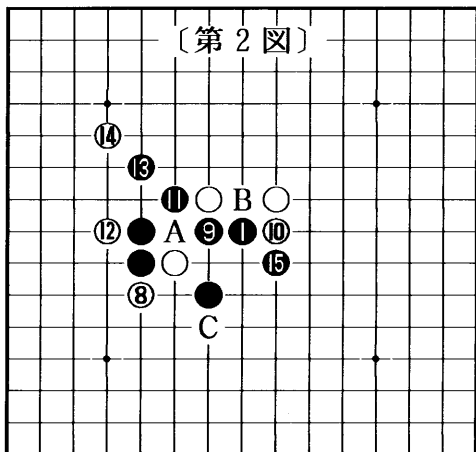
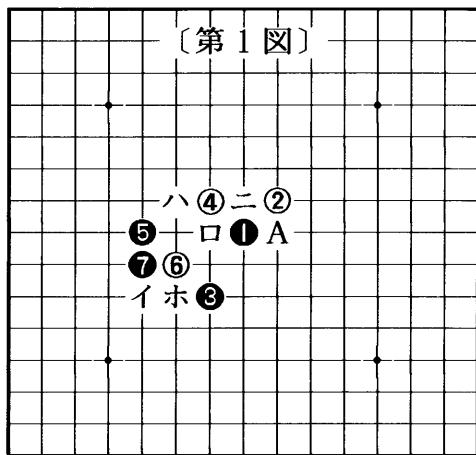
詰め物撰集

ところざわ連珠クラブ

光が丘＝練馬連珠会

目次

〔第1問〕西村敏雄講座より	1	〔第13問〕詰連珠『通天閣』	1 8
〔第3問〕詰連珠『散歩道』	3	〔第14問〕詰連珠『福身』	2 1
〔第4問〕詰連珠『初雪』	3	〔第15問〕詰連珠『春の歌』	2 1
〔第5問〕詰連珠『春の嵐』	6	〔第16問〕詰連珠『千葉城の華』	2 1
〔第6問〕詰連珠『前座』	7	〔第17問〕会員間の実戦より	2 5
〔第7問〕詰連珠『夜行列車』	7	〔第19問〕詰連珠『春雷』	2 6
〔第8問〕『ずばり採点』より	1 0	〔第20問〕詰連珠『天竜川』	2 6
〔第10問〕『ずばり採点』より	1 2	詰連珠『ジェット機』『南海』『山道』	
〔第11問〕詰連珠『母情』	1 3	『蜂の巣』『赤寺』『鈴鹿峠』『秋1』	
〔第12問〕詰連珠『漸新』	1 6	『あさくさ』『さいた花』	2 8



連珠世界 191号から4回連載された西村敏雄9段の「名月一間飛びの5珠入門」という講座は、名月一間飛びの入り口から一気に5珠2題打ちの段階まで引っ張りあげてくれるすばらしい講座です。詰め物の紹介の前にすこし引用してみましよう。

左図（第1図）

「この5は一番多く打たれています。この5だけで定石に数百倍する内容と変化があると言えましよう。6は最強ですがAに防ぐ手もあります。6は敵の急所は我が急所ですし、斜めの飛びに割り込むのは長星の感じで由来強いものです。7はこれが定石ですが、イロハニホなども打たれましたが、先手のハメ手で本手ではありません。」

（第2図）

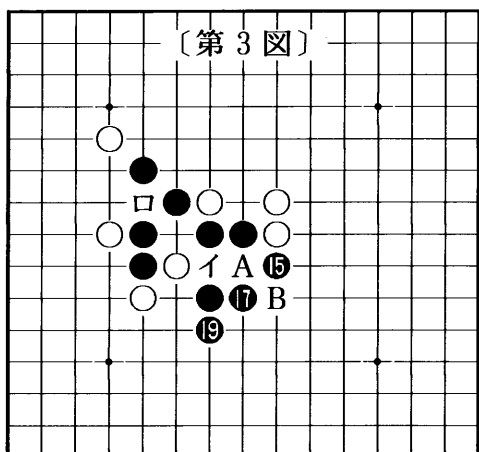
「8が最強で9はBにつっこむ手もあったが、これは以下の構図に不満なので手をかえた。11と山形にうつつのは奥村嵐山8段が打たれたのが初めてと言われるが、今でもこの構図が一番良いとされているのは、実践家の本番での読みとか感覚とか、いかに秀れているかが分かる。11はCに打つ手も結局はだめで、12Aに打つ手もあり、10でAにうつつ手もそれぞれ面白い。13からは萩原素石氏が2段当時に聯珠新報誌上にすぐれた研究発表をしておられる。13をうたずに単に15をうつつのは古い打ち方で、坂田吾瑞第5世名人は13をひいてから15をうつつ構想を推奨している。15道では打てないとさえ思われていた手が坂田名人の研究によって市民権を獲得したもので15は他に打つ手も試みられたが、黙って止めておくのが味のある呼珠で、いぶし銀のような手とはこのような手をさしているであろう。」

注) 萩原素石氏の研究は昭和6年の聯珠新報ということですが、国会図書館には大正12年までしか在庫がなく、原文は見えていません。

【第1問】16を手抜きなら、黒からどんな勝ち方があるでしょうか？

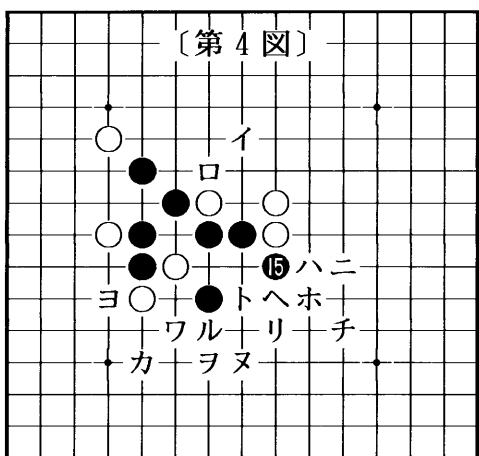
【第2問】白がどこかに防いだとして黒は17をどこにうつつか、15カ所くらい示してください。

以上、2問は西村講座からの出題です。



【第1問解答】

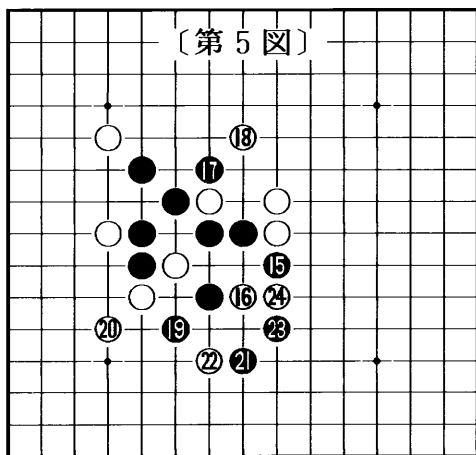
「16手抜きなら17と打ってAまたはBの四三をみせます。白18でそれを防いだら、19と三をひいて以下イ口の四追いです。これを防ぐには白の変化は16カ所くらいあります。こうして白の防ぎを見るときには、手抜きを進めてみてフィルムを巻き戻すのです。今ならスロービデオでもう一度といったところですよ。」



【第2問解答】

「さて白がどこかに防いだとして黒は17をどこにうつか、それにはもう一度よくながめてください。クロの先手ですから追手でも呼珠でもおもしろいまま。イ～ヨ位まで15カ所くらいあるのです。エッまだあるって？ それはそうです。わたしは17をうつ前に白紙に帰ってそれぞれの着点の効用を考えて見たらといっているのだゾ。寝言でさえも意味があるのじゃ。まして有り難いわたしのお話じゃ。まじめに聞け・・・」

西村9段の解説はおもしろいですね。この後も詳しい変化の解説がつづくのですが省略して第3問から詰連珠の紹介にうつります。ところで、再び西村講座から引用させていただきますが。



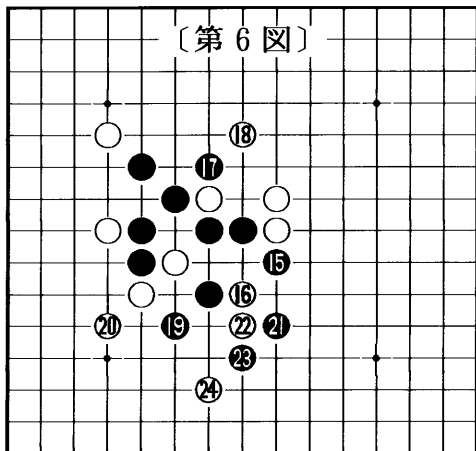
【第3問】

詰連珠「散歩道」

三浦仙三 9段 出題（段位はすべて発表当時のもの）

黒25より打ち出し、追詰勝ちをしめしてください。
（連珠世界 132号）

詰連珠の規則は、手数は最短、最後の四追いは1手として計算するため、実戦とは少しちがいます。実戦では呼手を打ったほうが良い場合がありますが詰連珠は参考になると思います。



【第4問】

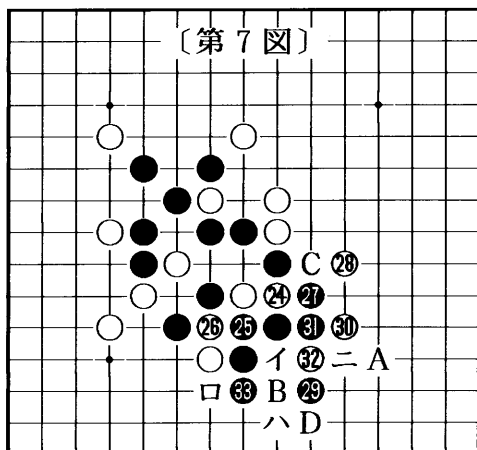
詰連珠「初雪」

岡本敏夫 2段 出題

「黒25よりの追詰勝ちを問う。」
（連珠世界 108号）

連珠世界 396号から連載された河村典彦7段の「新・解明シリーズ」は名月一間飛びがテーマで、かなり重量感のある講座です。この「初雪」の答えは河村講座をお読みの方には簡単でしょう。

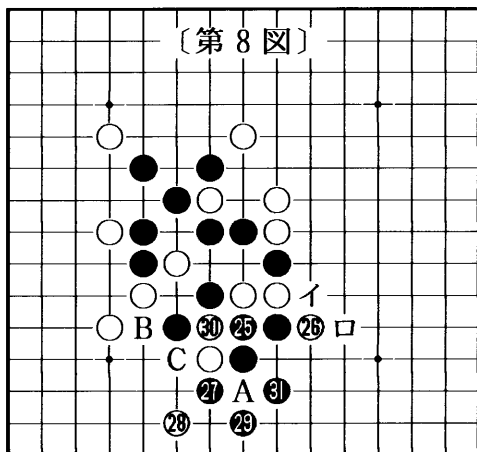
注) 河村講座は「復刻版 河村定石」として別冊にしました。
そちらもご覧ください。



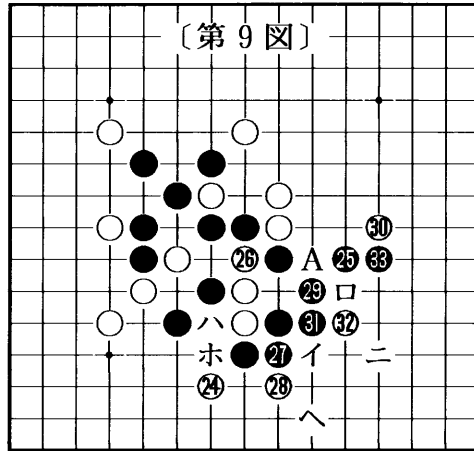
【第3問解答】「散歩道」

- ☆33後イかロ。
- ☆32外も同じ。
- ☆30がAも同じ。
- ☆30を31ならB後ロかイAハニ。
- ☆30をC32Dなどなら33後ロか30 31 イ。
- ☆30他は30 31 かAイ32。
- ☆28反対はC後28か30 31 。

第8図は26の変化



- ☆31後Aかイロ。
- ☆30がBも同じ。
- ☆30他はBか30 31 A。
- ☆28反対はC後28かB。
- ☆26をBなら26ロイ。

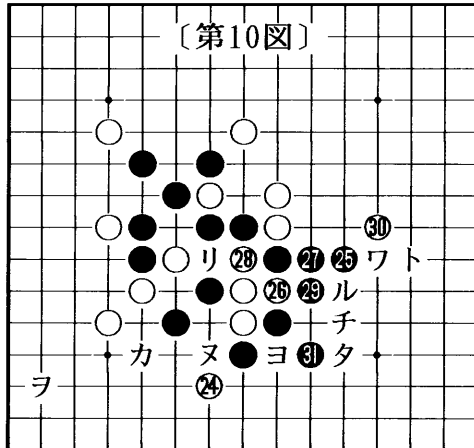


【第4問解答】「初雪」

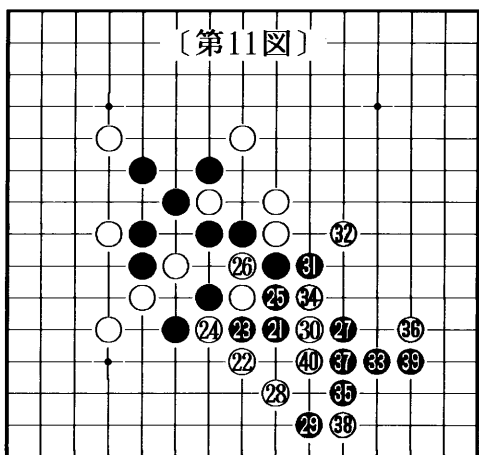
- ☆33後 A
- ☆32をイか A なら口後32
- ☆28がイなら口後四追い
- ☆28がハならイ後29 32 28
- ☆28他なら29ニイホハ28へ31 A 33などいろいろな四追

注) 上記の最終行の解説は、やや不正確。28が四四禁になる場合もあるので、別に1項目必要と思われますが、原文どおり記しました。河村講座では28をイ止めで解説しています。「26をどこへ防いでも大同小異なのですが例えば譜の26なら 黒27のふくみがものすごく味の良い手で決まります。」

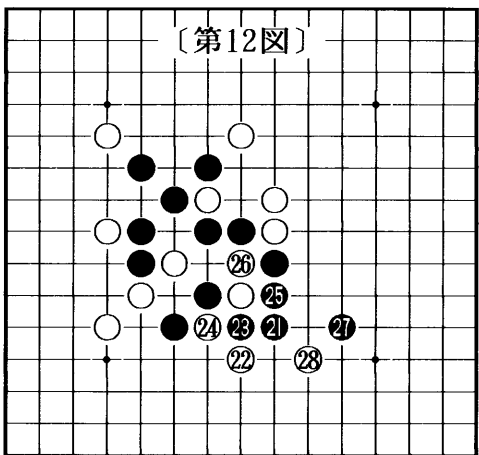
第10図は26の変化



- ☆31後トチ
- ☆28反対なら31後29かりヌ
- ☆26をリなら黒31白26 (他なら4追9回その他いろいろな四追)
- 黒27後29
- ☆26を27なら29チル後四追
- ☆26他は四追
- ☆26でヲにのびてワに防ぐも28リヌカヨタ29チが残る



第11図は「初雪」の22を打ち変えた図です。斉藤秀一5段の「5種2カ所打ち総論」の98図（嵐月なので左右が逆）の途中図で、右側の盤端ぎりぎりまで黒勝ちが出るというものです。この図について三好丈夫7段が「こんにゃく問答③」で解説しているので引用してみましょう。
 「21に対して22が強防です。黒は23 25をうったあと単に27とうつのが本図のポイントです。本図の27は四追いをふくんではおりますが白は28と三をひいてきます。これが、もし先に31が打ってあれば28の手は無論ありません。したがって気持ちとしては31の三を先にひきたいところですが、ところがそれだと勝ちがなくなってしまう。黒は32ととぶ手を残すことで28を強要し、29と止めた石を利用して33から攻めようというわけです。」
 41以下の手順は「斉藤秀一本」をご覧ください。
 28の変化と30の変化で詰連珠「春の嵐」「前座」「夜行列車」とつづけてご紹介いたします。

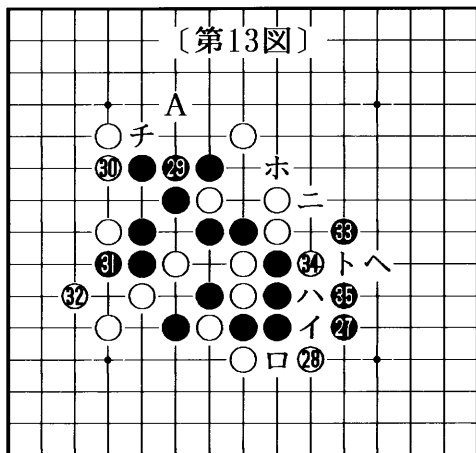


【第5問】

詰連珠「春の嵐」
 林 昭一2段 出題

「黒29より打ち出し追い詰める」
 （連珠世界 381号）

三好7段が解説された黒のトビ三を白がノリ返そうというのが28の意図だともいます。



【第5問解答】「春の嵐」

- ☆35後イロ
- ☆34他は34イハニホヘト
- ☆30反対は黒A後チ30

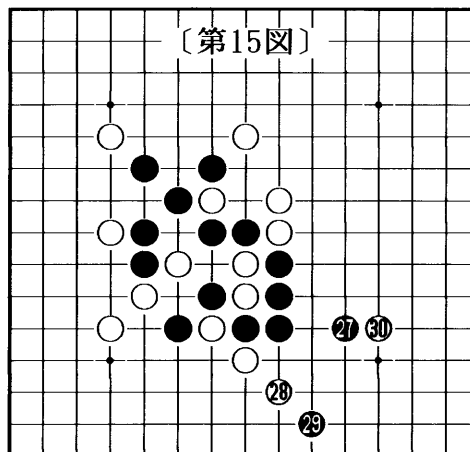
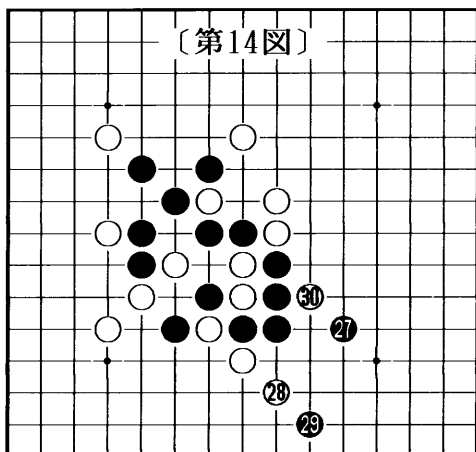
29の一手で34の中止めを強要して35の三を引くという発想には感服します。

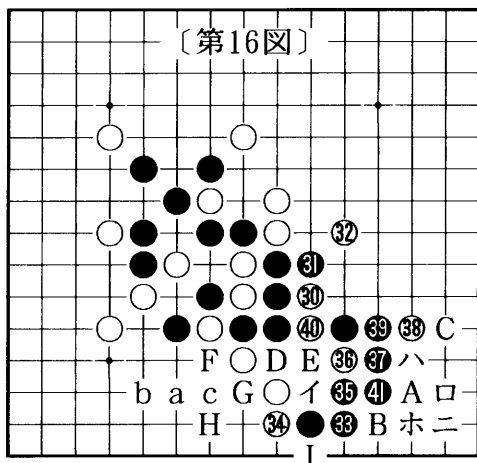
【第6問】

詰連珠「前座」(14図)
友永 彰初段 出題
(連珠世界 373号, 8月号)

【第7問】

詰連珠「夜行列車」(15図)
(同7月号)
黒31からの追い詰め。

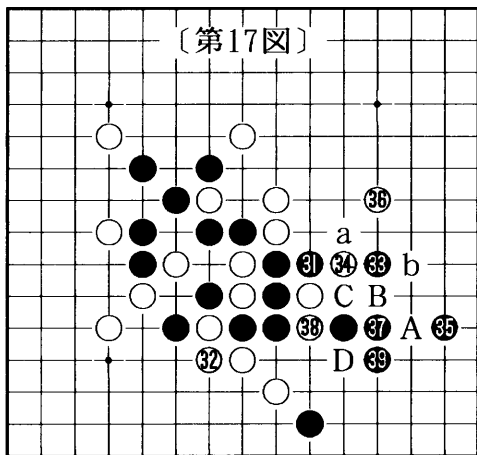




【第6問解答】「前座」

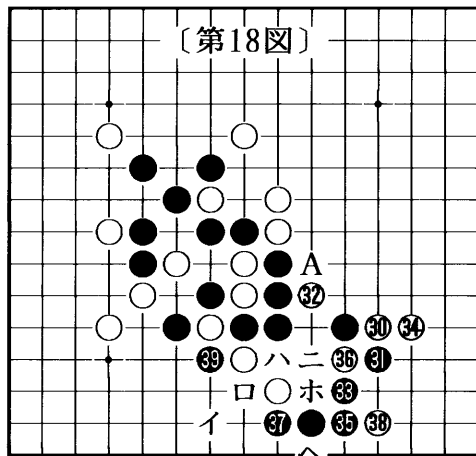
- ☆41後イロハ
- ☆38を他は黒A後ニホAまたはニB39またはイ39 41 またはイA41 39 38 C
- ☆36を外止めは40 36 ホ B D E 37
- ☆34を40は36 34 後イ
- ☆34を36は34後 F G D 40
- ☆34をBは36後イ39
- ☆34を39は34後 F G H D または F I イ40ホ36
- ☆34をD, イ, E, I, 37, F, a, G, b, cはホ後40 36
- ☆34を他は40イ I F 34または40イ I F 34ホ36

第17図は32の変化。



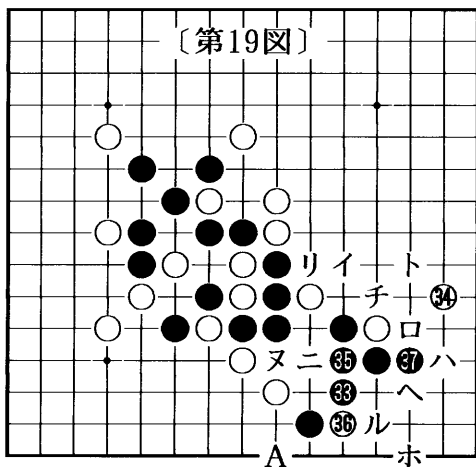
- ☆39後後A
 - ☆36をaは同順
 - ☆36を他は36 37 B 39 A または直ちにa
 - ☆34をbはC後aまたは38
 - ☆34をa, 36はB後bまたは37
 - ☆34を他はa 34または36 37 B b
- 譜の32に対し黒33をDにうっても同珠数の追勝ちになる。

三森8段が「作戦点描(上)」で第16図の33を妙フクミとして載せておられます。



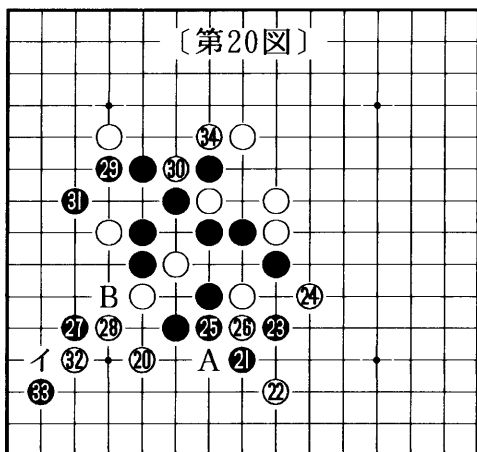
【第7問解答】「夜行列車」
「前座」とは30の位置が違う姉妹局です。
☆39後イロハ
☆38反対は38ニホへ39
☆36外止めはA後36ハニ38
(Aを打たないと白がノル)

第19図は34の変化



☆37後イロハまたはイロニホへとチリ
☆36反対はり後36ヌニル
☆34をAも上に同じ

第19図の34とA止めは、第18図と違い1珠減なので、詰め連珠の解答では「第18図と同じ」とすると減点されるそうです。



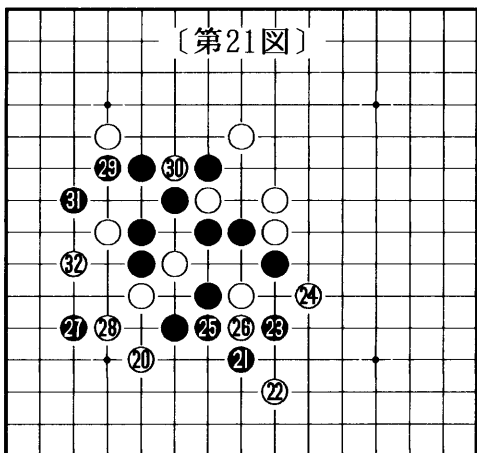
【第8問】（20図）

古い連珠世界には「ずばり採点」という欄があって、面白い問題が出ています。その中から三浦仙三9段が出題されたものを紹介します。「名月の研究譜」です。31の見せを32 34と乗り手で防ぎました。以下、黒の応接数手をよみきってください。」

この局面について西村講座では次のように書かれています。「27をBにうつのと比べてください。黒の狙い自体はよく似ているのですが、Bでは防がれてしまうので27にうってみることになったのです。田波旭山8段に敬意を表すると同時にAと引かないようにとの的確な評をくださった坂田吾瑞名人に敬服せざるをえません。」

注) 田波8段はA後27を打ったらしい。

なお、28がイのとき黒29よりの追い詰めをもとめる問題もあったが省略します。

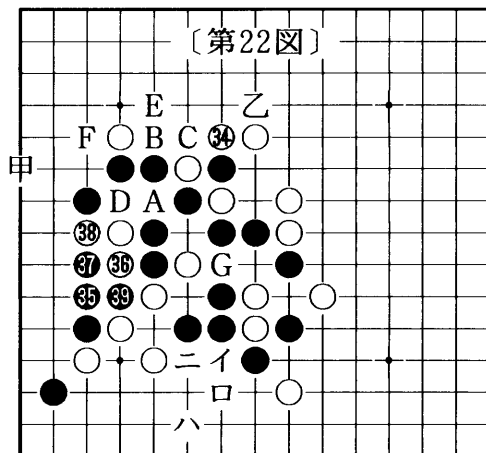


【第9問】（三浦9段出題 21図）

「前局の変化図」です。33よりの追詰勝ちを読み切ってください。」

ヒントは第20図でAとひかないようにという坂田名人の評の中にあります。

以上2題は並んで出題されました。



【第8問解答】（三浦9段出題 22図）

「まず失敗図です。35より図のごとく打ち進み、39後イロハニの四追い4回というのは白が甲乙の四のびでA点が四四禁絶におちいります。

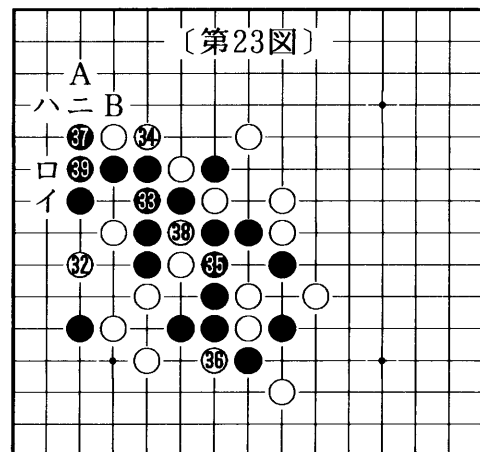
黒A白B黒Cと平凡に打って追い詰めるのが最善で正解です。」

（斉藤本百三図には第20図の32 33の交換の無い図が載っています）

河村講座でも百三図で説明していますが、第22図で、黒A白B黒Cまですすめたとして

「黒31のミセ手に対して白34の止めは最強のがんばりですが黒Cまで止めておきます。するとDに四三が残っているので白は止めなければなりません、その止め方によって黒は39とひいて35 37 イロハニの勝ちかEとひいての勝ちをねらいます」

この説明を読んだとき黒CE後の勝ちが見えにくいかもしれませんが、黒がFのとき外止めがありそうです。ところが23図の応用でGからだとう四追いなので外止めがありません。坂田名人が20図でAとひかないようにという評が適切だったことがわかります。なおCE後に白が四のびをするのはムダです。

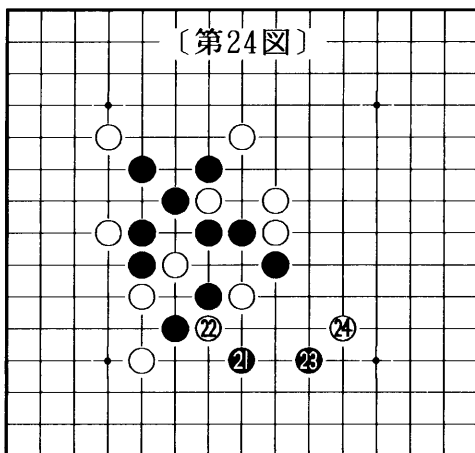


【第9問解答】（三浦9段出題 23図）

39後イロハで追詰め勝ちです。

白がそれをAとのび（黒Bと防ぐ）夏止めにしてロに防いでも黒にはハニというおかわりの四追い勝ちが生じるので白Aの四のびはむだです。

なお1999年11月の第31回クラス別連珠京都大会で全勝対決の岡部3段対鶴浦2段戦では第20図の28に岡部3段はBと打ち鶴浦2段はイと打ちました。岡部3段談「Bはハマリ。白32イと打っていたら白勝ちだった。ここで10分で黒勝ちをよみきり、全勝で4段になった」鶴浦一久2段は2年連続の准優勝をかざりました。ここで岡部3段がよみきった勝ち筋は2000年1月号の連珠世界をご覧ください。

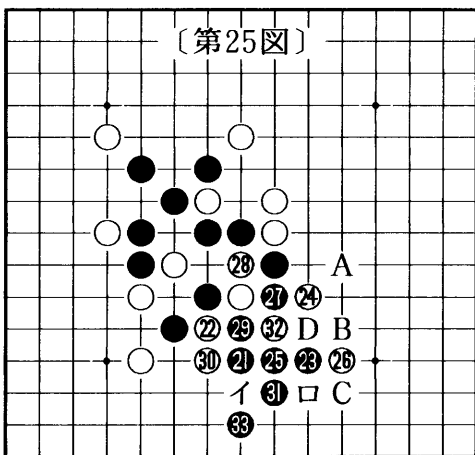


【第10問】（24図）

もう1題「ずばり採点」から三浦9段の出題です。

原図は上下が逆でしたが前問と揃えました。

「わたしの研究譜からずばり1問を呈しましょう。黒23の呼手を24と防ぎました。以下の追詰勝ちを読みきってください。」



【参 考】（25図）

河村講座から引用します。

「22は一見弱そうですが、実際にはたいへん強い防ぎなのです。これに対し23の間開きの妙手が打てるかどうかポイントです。」

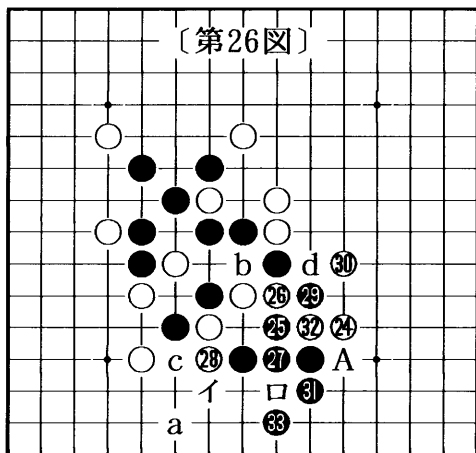
「24を27のとき、形にほれて黒25を24にうつとDに割り込まれて勝てなくなるので要注意。25はBに開くのが正解です。呼手は大きく打てといえます。」

「さりとして第25図の白24でも黒に追い勝ちがあります。25に対し26は勝負手なのですが29のミセ手がうまい手で33後イロまでです。」

「24を25ならAから、32ならBと呼手をうつ。26なら24に呼手をうつ」

注1) 26の反対止めは27 31 B 26 C以下。

注2) あすなろ杯でこの図が出現したとき、三森9段が「間に割り込んでいたら難しかった」と感想をもらわれました。百戦錬磨の9段のこと、後手の妙策があるのかもわかりません。

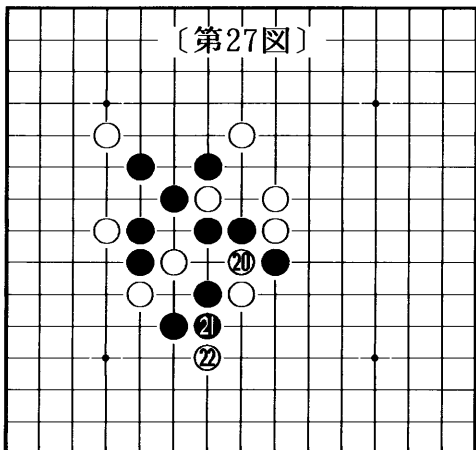


【第10問解答】（三浦9段出題 26図）

25とうって26 27 の四追いをふくむのが好手で26の防ぎなら図のように33まででAとイ口の両四追い勝ちとなります。30が反対ならd 30の順28が反対ならa cの順。26がbなら黒27白28黒イ白a黒31にてAと29の両勝ち。26が他なら26 27 の四追いか30 bの順の四三勝ち。

この図は河村講座にもでてきます。「この24は第5期東西対抗戦で磯部9段に対し打った手です。これにたいし25が急所となり33後Aまたはイ口。ちなみに磯部9段は25でcと打ち白が72手まで勝ちました」

定石は忘れて打てといいますが、この図を研究しておけば9段相手でも互角にたたかえるかもわかりませんね。（磯部9段はわざと25を変えられたのかもわかりませんが）



【第11問】（27図）

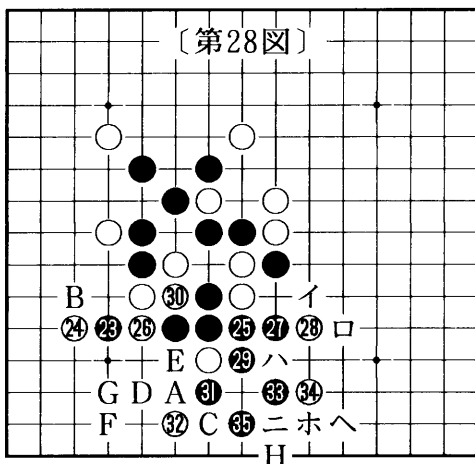
詰連珠「母情」

岡本敏夫2段 出題

黒23より打ち出し追い詰勝ちを示してください。

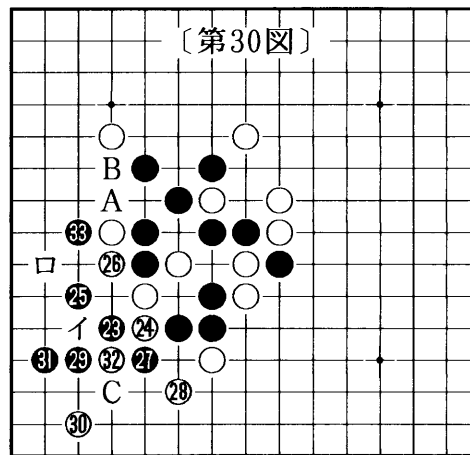
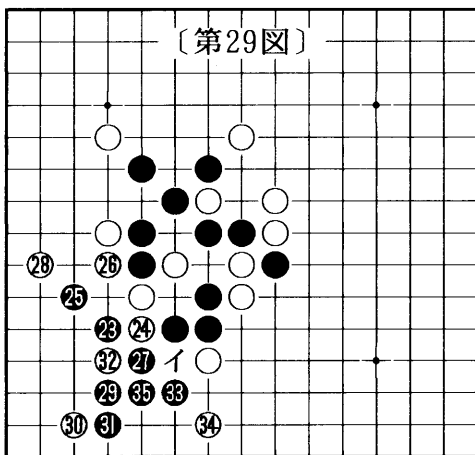
（連珠世界 133号）

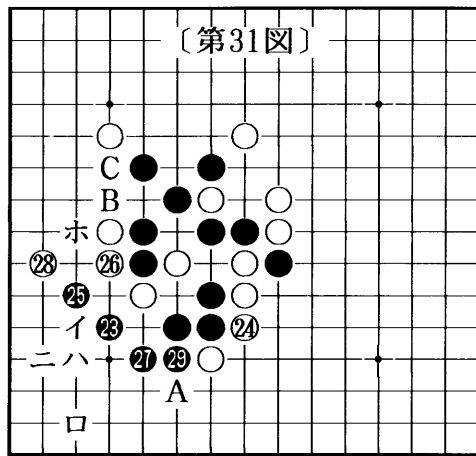
注）この20止めは17と18の交換がないと成立し、黒勝ちが消滅する。20を打たれてから17にのびても反対に止められる。



【第11問解答】「母情」(28図)

- ☆35後イ口かハニホ
- ☆34他ならA後Bまたはハ34かハニホへ
- ☆32反対も33とふくみ、後A後Bまたはハ34かハニホへかハニホ32 C B A D E F G
- ☆30を33なら32 A 後 B
- ☆30を35かHなら31後33ハ34
- ☆30他なら32後30 A Bまたは33ハニホへ
- 第29図は24の変化(中止め)
- ☆35後イ ☆32他も同じ
- 第30図は29図の変化(28の反対止め)
- ☆33後イか口。白AのびもBで三連が残る。
- ☆30がCも同じ。
- ☆30でAにのびればB32後C
- ☆30他なら32後Cまたは30イ33口A
(29は珠数節減の妙手)





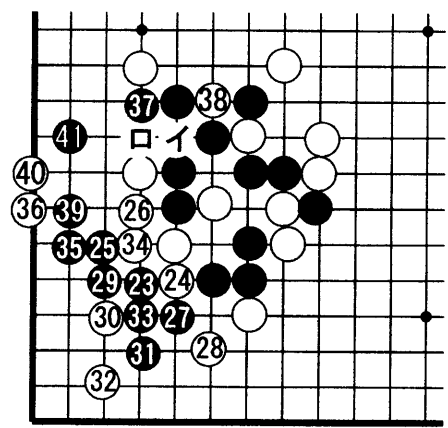
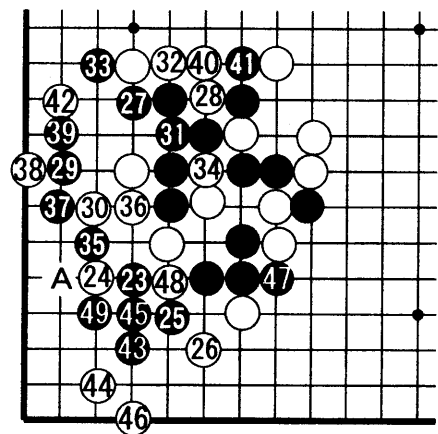
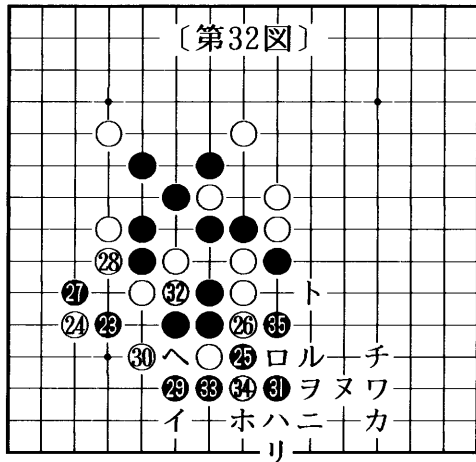
(第31図は24の変化[止め図])

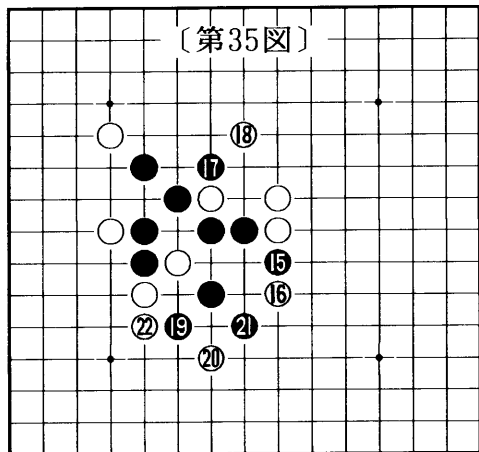
- ☆29後 Aかイロハニ
- ☆28反対は28イロハホ
- ☆28で Bにのびても Cの三が残る
- (第32図は参考図としてあげられている)

☆35後イロハニホへかトチニロリヌルヲワカ
 ☆単に25と含むも良い。25を左辺にうつとせいぜい41珠うちあげ。
 河村講座では、左止め図(28図)を第33図のように25から変化します。
 「上辺と下辺をにらみながら打ちます。27を打つタイミングが難しく30の乗り手には注意。42を絶対にさせ、46に夏止めされたら47で切り、51手目にA点で四三にします」
 また中止め図(30図)の29からは第34図のようにうち変えますが難解です。「29にふくみます。30で止まったように見えますが上辺にねらいをつけて、36の抵抗にも37でのり手を切ってから41まででイロの四三」
 河村講座の手順よりも、「母情」のほうが簡明のような気がします。

〔第33図〕 (河村講座)

〔第34図〕 (河村講座)





〔前ページよりつづき〕

磯部恭三8段は対手島5段戦で30図の29を32にうって勝っています。

〔第4期名人戦挑戦者決定リーグ〕。

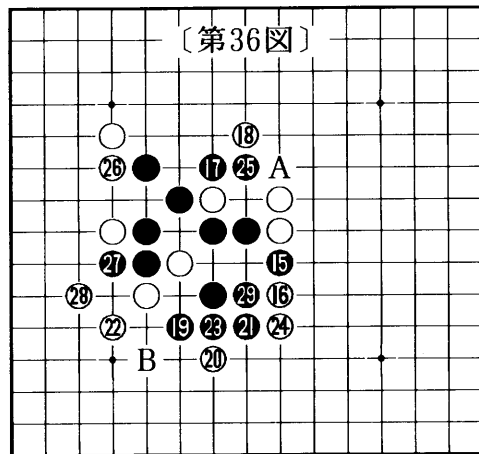
また解説をした坂田吾瑞名人は「24の中止めはつらいがやむをえない24を左にとめた場合、32図の25をうたれると白は防ぎきれない」と書かれています。

【第12問】（35図）

詰連珠「漸新」

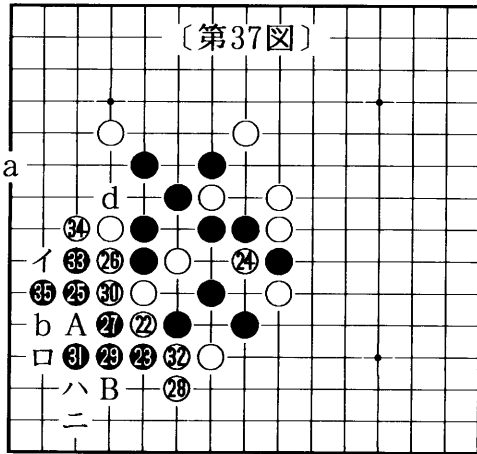
高橋久6段 出題

23からの追詰勝ちをもとめる問題。16が前問までとちがいます。



【参 考】

この16について、西村講座はつぎのように書かれています。「16の防ぎは以前から最強といわれてきた防ぎで、山北利徳9段と新井華石9段との十番戦や、そのほかに数多く打たれていますが、結論ができました。17から19が磐石のかまえです。第36図の20は最強の防ぎです。21と落ちついていて22と上下の連絡をたったとき、25とうって29の三三禁を六腐で消すのは萩原素石氏の名講義でした。この25の手やAの手は先手の権利ですから、それが良い手になるときはお使いください。」この山北対新井戦の20年後、三森政男9段(白)対三好丈夫7段戦の譜が連珠世界にのっています。これは「斉藤秀一本」の96図とほとんど同じですが、31と33の手順が前後しています。これは第13問「通天閣」のところてふれる予定です。三好七段の自戦記は「16の手は20年前に山北対新井戦で解決済みです。ただし21のまえにBとひくのを私はおすすめします。」



〔第37図〕

【第12問回答】「漸新」(37図)

☆35の後Aまたはイロ。白がaととべばイが生じるので無効。

☆34がハなら34イ。白dの四のびは無効。

☆34がAならb後Bまたはイロ

☆32が他ならニA34イ。白dの四のびは無効。

(第38図は30の変化)

☆35後Aまたはイロハ。

☆34を他はニ後34またはハ。

☆32を他はB後32。

☆30をa, bも同じ。30をcは32後30d。

☆黒31より32B eにひくのは白に33fの防ぎがある。

(39図は28の変化)

☆35後イロハまたはニホ。

☆34をaはホ後ニ。

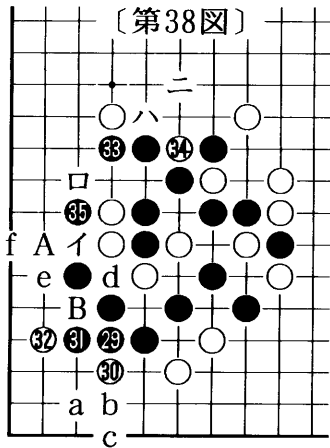
☆32をハは35後aまたはニ。32を他は32ニまたはハa。

☆30をハは黒b白ニ黒ホ白30黒c後a。

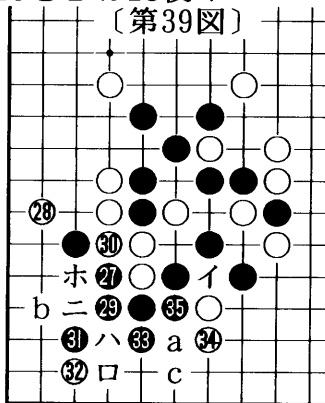
(40図は24の変化)

☆29後A。

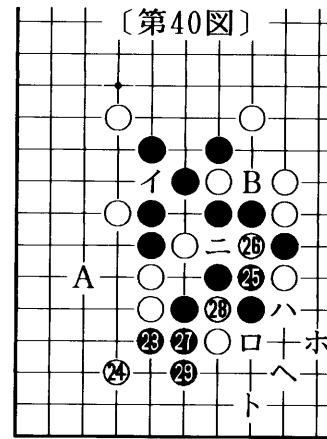
☆26をBは28後イロハニホヘト。



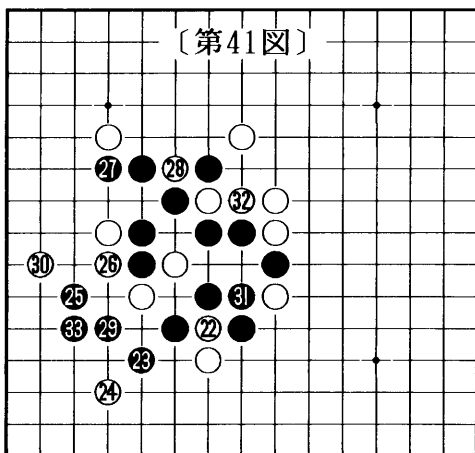
〔第38図〕



〔第39図〕

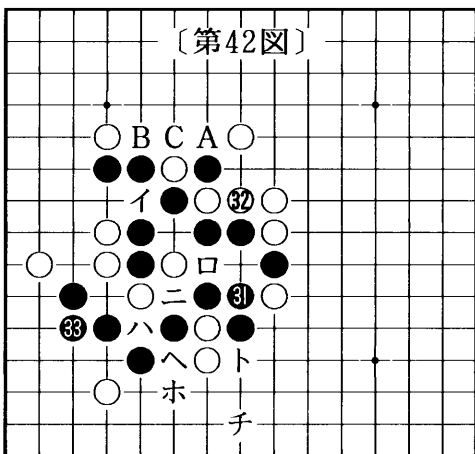


〔第40図〕

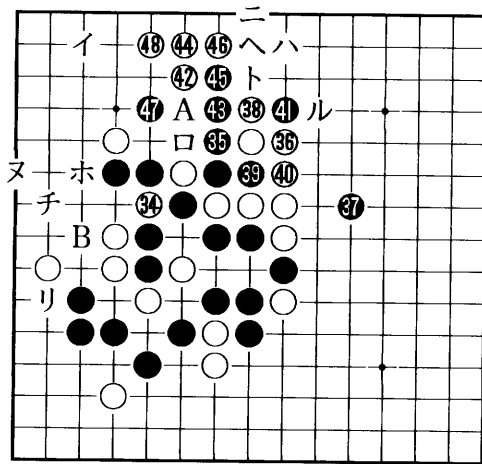


【第13問】 (41図)
詰連珠「通天閣」
西尾珠豊 7段 出題
白34からの追詰め勝ちをしめせ。
(連珠世界98号?)

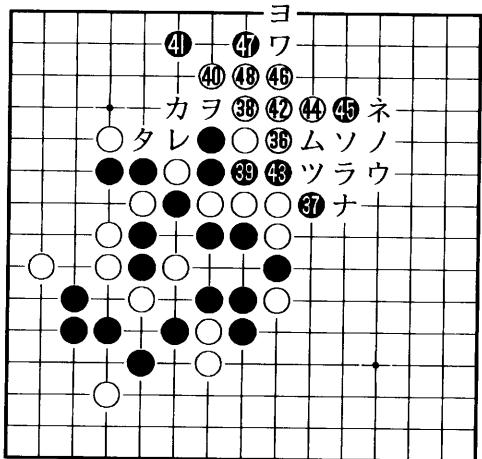
国会図書館には掲載号が在庫されてなかったなので、坂田吾朗 9段の蔵書をコピーさせていただいた詰連珠です。



【参 考】
42図のように黒からイロハニホヘトチの四追勝ちがみえている。
34をAなどにうつ案は黒イ白B黒Cでロハニホヘトチの四追い勝ちが残り、追い詰めは消滅する。
本図は「斉藤秀一本」の96図とは31と33の手順が前後していて、32が上止めになっている図です。33が打ってなければ上記の追い詰めは無いですから32は下にとめる必要がないと思われます。
12問の参考図でふれた三森政男対三好丈夫戦でも31と33は手順前後していますが「通天閣」とは違って三森9段は32を下止めしています。
三好7段は「・・・解決済みですから結果は必然で、黒勝ちの証明をしたらに過ぎません」と書かれています。もし三森9段が上をとめていたらどのような結果になったのでしょうか？
「通天閣」の32上止めにたいする33の最善手はどこでしょうか？ ご検討ください。



上〔第43図〕
下〔第44図〕

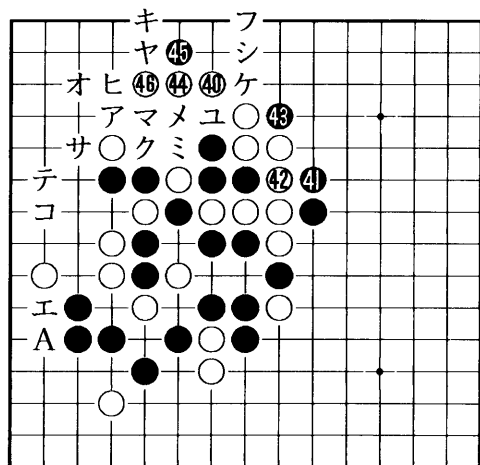


【第13問解答】「通天閣」(43図)

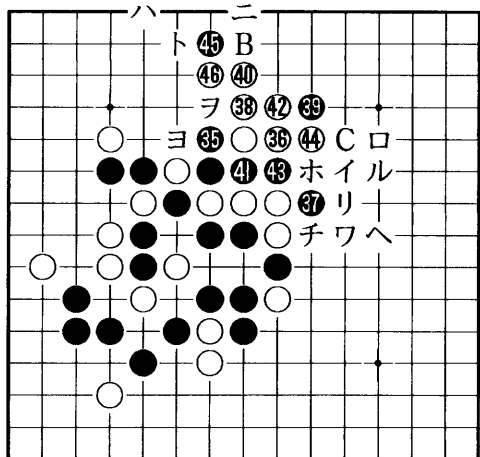
- ☆48後イロかハロでA点が四四禁。
- ☆47がニも同じ。47がホならニへ。
- ☆45が両端なら47後ニ45トか45チリか45AチリヌでB点四四禁。
- ☆43が他なら47後43A44。
- ☆39がルなら白40 42 黒43 (他ならトニ47 43 A44) 白45後ト。
- ☆39がトならル後41。他なら39か39ル41。

(44図は37の変化)

- ☆48後ヨワ。
- ☆47が48なら47後カヨ。
- ☆47がヲ, ワ, カ, ヨ, タ, レなら48後47。
- ☆47が他ならカヨ47。またはカヨ47 48。
- ☆45反対は白ソと打ちツネまたは45ナラの四追いをふくみ、黒が
 - 1) ツなら白ラで45かム。
 - 2) ネなら白ラでナかム。
 - 3) ナなら白ウ後ノネ。
 - 4) 45なら白ウ後ツネノ。
 (黒ツとのびても白に三が残る。)



上〔第45図〕
下〔第46図〕



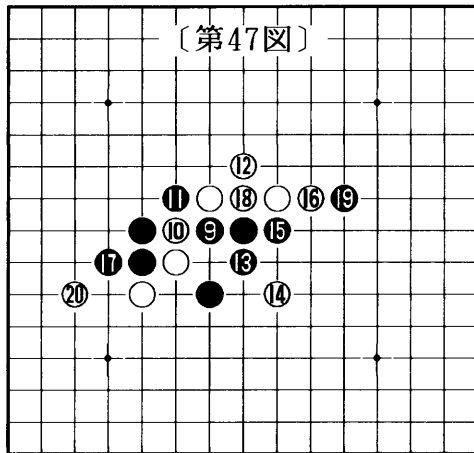
(45図は41の変化)

- ☆46後オクヤマかケフマコエ。
- 黒Aでもケフマコエテヤクアサ。
- ☆45がキなら46後オアユマかケフマコエかケフマユアエコテ。
- ☆45がミかメなら46後キヤマ。
- ☆45がマかアならケ後シ45ヤ。
- ☆45が他なら45ユメマ か45ユメアオヒまで46の点長連禁。

40は41にひく手もある。

(46図は39の変化)

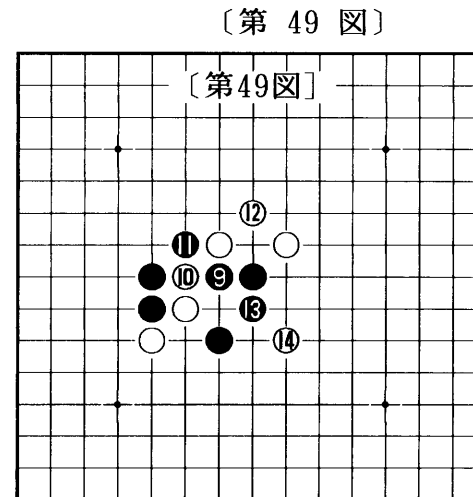
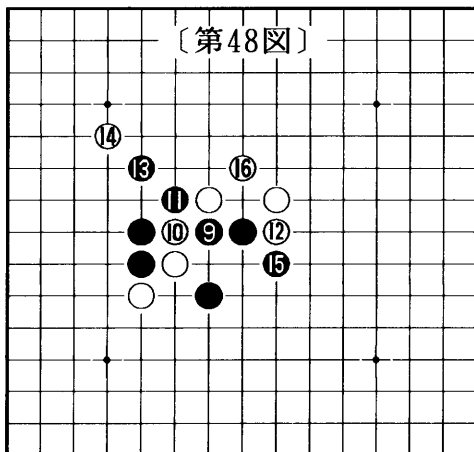
- ☆46後イロハニカロニでB点禁。
- ☆45が反対ならホ後ニヘロでC点禁。またはト45B。
- ☆39が40なら39後42。
- ☆39が他なら41か41 39 42
- ☆37がチカルならリ38後41。
- ☆37がヲなら41後リ38 (黒46の伸びなら40 42)。
- ☆37が42 43 ワなら41後リ38。
- ☆37が他なら43 37。
- ☆35が反対なら35ヨ36 43 37。

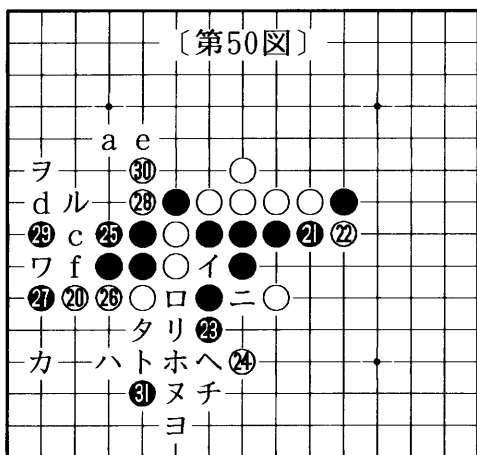


【第14問】（47図）
詰連珠「福身」
長岡哲夫氏 出題
黒21よりの追い詰め。（「斉藤本」92図と同じです）

【第15問】（48図）
詰連珠「春の歌」
小笠原桂馬氏出題（連珠世界83号出題）
黒17よりの追い詰め。

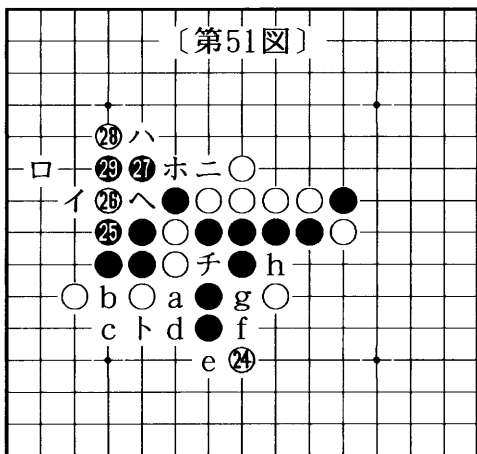
【第16問】（49図）
詰連珠「千葉城の華」
大野峻象氏 出題
黒13よりの追い詰め。（都合により14まで記す）





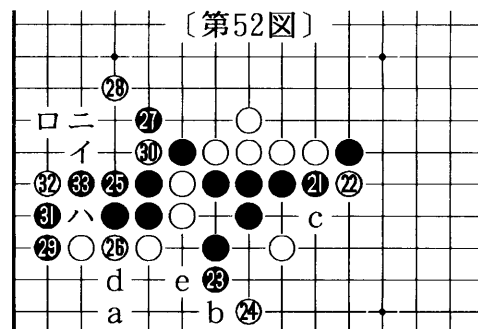
【第14問解答】「福身」(50図)

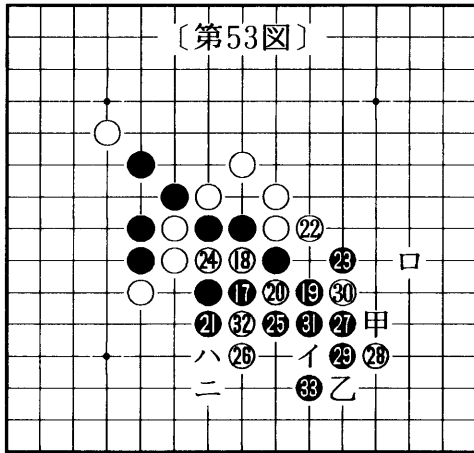
- ☆31後イロハまたはニホトルヲワカハまたはロニホヘチリヌまたはニホロリヨハタまたはニホヘトハまたはニホイロタリ。
- ☆30をaも同じ。
- ☆30をル, ロ, リ, ホはワ後c30。
- ☆30ほかは四追い。
- ☆28を30は黒31白イ最強黒ハ後ニホト。
- ☆28をaは28後ルヲd29e。
- ☆28をfはル29後四追い。
- これを直ちに四追いはノリ手がある。
- ☆29をニホ後四追い、または31後四追いというのは白イ。
- (51図は26の変化)
- ☆29後イロまたはイハまたはニホヘ。
- ☆26をaはb後四追い。26を27, 28, 29はc後d。
- ☆24をfはe24後四追い。24をg, hは24後四追い。
- ☆25後チaトdは白にのり手。
- ☆25をbや21を25にうつのは追い詰めにならない。
- ☆21を23は白21で追い詰め消滅。



(52図は参考15点案)

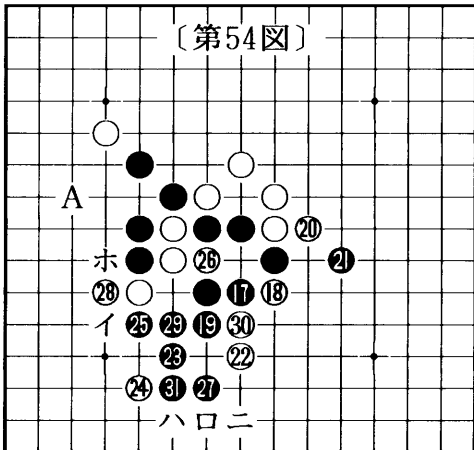
- ☆33後イロハニ
- ☆25をaは白bまたはcが強く、黒d後eは白cとe点を四四禁にして防ぐ。





【第15問解答】「春の歌」(53図)

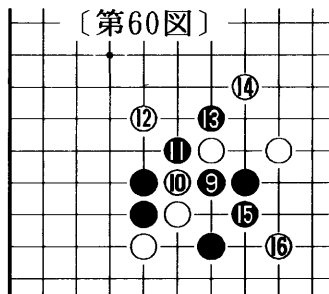
- ☆33の後甲。
- ☆30を乙は31 33 後四追い。
- ☆30他は直ちに四追い。
- ☆24を26は27イ後白24黒31ロの後四追い。
- ☆20他は23以下略。
- ハニの説明文は書かれていませんでした。



(54図は18の変化)

- ☆31後イロ。
- ☆30反対はハロニ。
- ☆28がニならイホ28。
- ☆26他は30後四三または四追い。
- ☆20, 22 の変化は略。他の変化も容易、略。

この図も国会図書館には在庫がないので坂田9段の蔵書を写させていただきました。坂田9段のお話では、このころの詰連珠は間違いがあるかもしれないとのことでした。柏木越郎氏「5珠2カ所打ちガイド⑦」では「黒15では白16で黒に追い勝ちはない。15はAに休むのが好珠である」と書かれているので不詰かもわかりません。



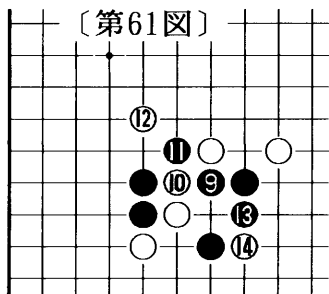
会員間の実戦譜ですが、「福身」「千葉城の華」と似た局面があらわれました。

【第17問】(60図)

1998年8月2日、小俣 初段対河野 8級戦です。白16と止めて小俣初段の勝ちになりました。しかし、ここから黒に追い勝ちがありました。12の位置が前問と違ってはいますが。

【第18問】(61図)

8月23日、岡部 1級対河野 6級戦です。前問の勝ちを調べてあった河野 6級ですが14と止められ岡部 1級の勝ちになりました。黒から追い勝ちはなかったでしょうか？

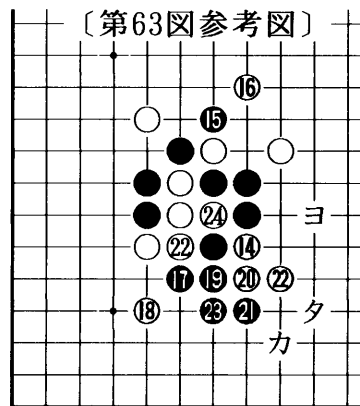
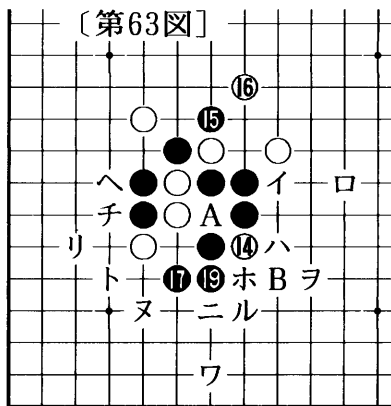
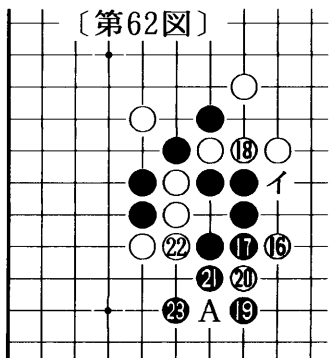


【第17問解答】(62図)

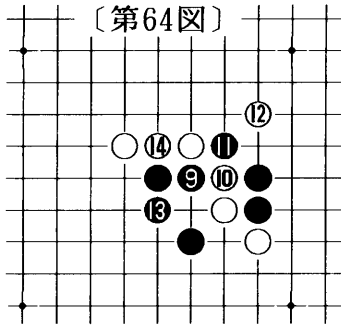
17~23後Aで四三勝ち。18反対もイ18まで。

【第18問解答】(63図)

15と16の交換をしてから17とひく。どちらを止めても19と打つ。以下イロハニホまたはトヌリまたはヘトチまたはルヌニまたはヲホトヌリまたはトヌニワリなどで黒勝ちです。白A黒Bの交換はBの石が働くので止めたことにはなりません。白B黒A白ニでも黒の追い勝ちです。白18の最強妨は〔63図参考図〕のように25以下四追い勝ちになります。22が力止めするときもヨタ後四三勝ちです。



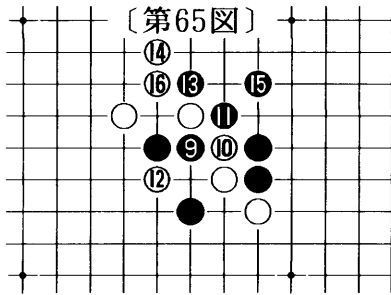
上位者の貫祿勝ちになりました。実戦では瞬時に読める力と日ごろの研究が勝利につながります。



詰連珠「春雷」(64図)
古沢悟一郎氏 出題
15よりの追い詰め。
嵐月なので左右が逆です。

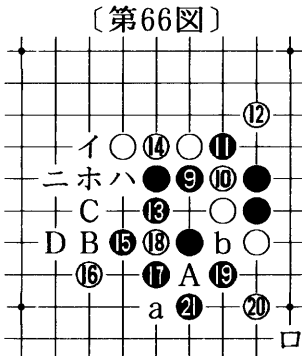
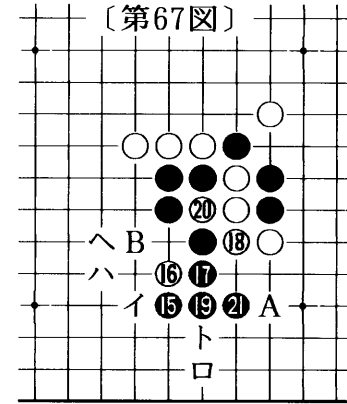
【第20問】

詰連珠「天竜川」(65図)
金原一郎氏 出題
17よりの追い詰め。
同じく嵐月です。



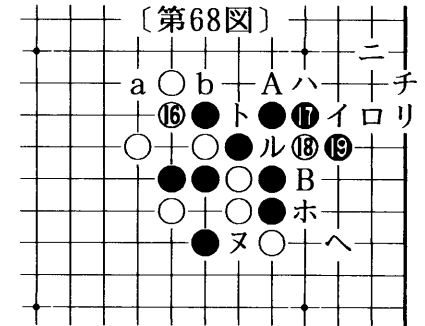
【第19問解答】「春雷」(66図)

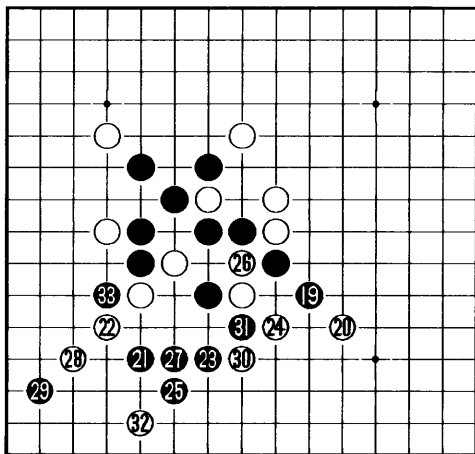
- ☆21後A。
- ☆20をイ口と夏止めはハニ
- ☆18をDは21後a A。
- ☆15, 17は何通りもある。
(67図は参考別案)
- ☆21後Aまたはイロハ。
- ☆18他は18Bへ19ト。



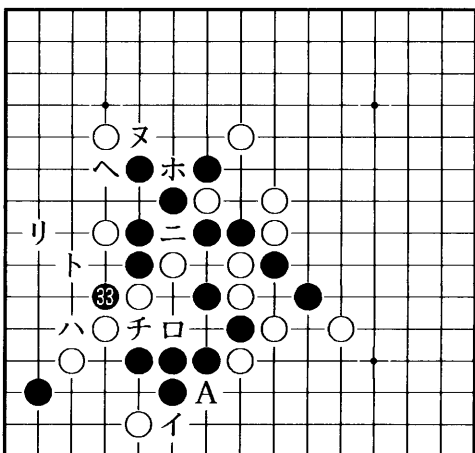
【第20問解答】「天竜川」(68図)

- ☆19後Aまたはイロ。
- ☆18をハニホへも同じ。
- ☆18をBは黒19後Aまたはイニ。
- ☆18をイ, トなら19後AまたはハホB。
- ☆18をチ, リ, 口, ヌならハホBトル。
- ☆18を他はハホBイロ。
- ☆17を18と打つと白a bのノリ手。





上〔第69図〕
下〔第70図〕



「初雪」や「通天閣」などの17～19を関東流（磯部流）というのだそうですが、69図の19は九州流というそうです。

【第21問】（69図）

ずばり採点より三浦9段の出題です。

「山北利徳—西村敏雄戦より取材しました。33の四追いふくみまで打ってありますが、最善 最強の白34はどこでしょうか？」

注）九州流の秘訣は17と18の交換をしないで、いきなり19らしいです。

【第21問解答】

70図のAとふせぐのが正解でした。

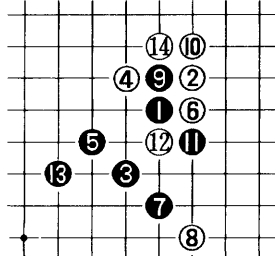
以下、黒イと打ち出せば白ロと防ぐのが絶対で、次に黒ハなら白ニと防いで黒の追い詰めは消滅いたします。

また、黒イ白ロのあと、黒へとひき白ホ黒トの順なら白チと防いで黒の追い勝ちを消滅。

黒へからひいてきたら、白イとのびてから白ホと防ぎ、次に黒トのときに白リまたはヌと防いで、やはり黒の追い詰めは後援がつづかず消滅します。

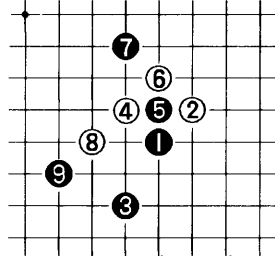
この他にも詰連珠がありますが、問題だけを数題ご紹介いたします。

「ジェット機」
石谷信一 4段 出題



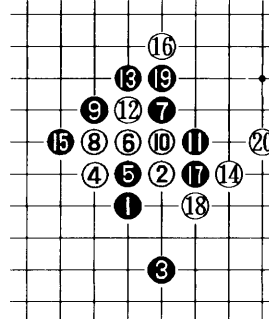
15よりの追い詰め

「山道」
伊藤隆男 5段 出題



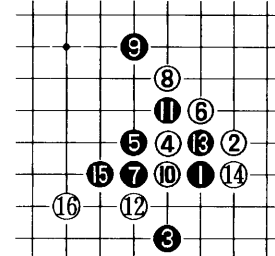
10よりの追い詰め

「咲いた花」



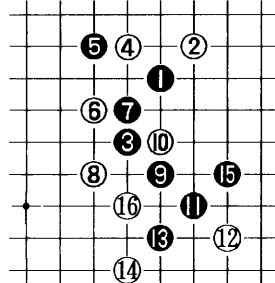
(詳細は不明)

「赤寺」
三浦仙三 9段 出題



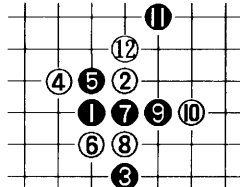
17よりの打ち出し

「南海」



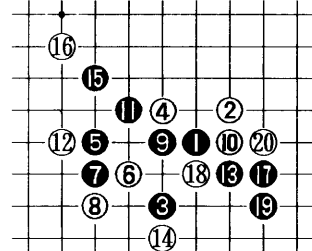
17より追い詰め

「蜂の巣」



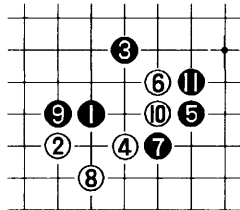
13から追い詰

「鈴鹿峠」
樋廻勇 5段 出題



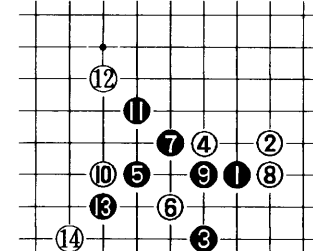
21よりの追い詰め

「あさくさ」



12からの追い詰

「秋の一」
出題 柳ひろし氏



15よりの追い詰め